

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6088	(H.24)No.	6088
-----------	------	-----------	------

事務事業名		道路橋梁総務一般経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		福廣 忠則	63-2151
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~ 平成	年度	道路法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	390501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	道路橋梁総務費	
項	道路橋梁費	(小事業名)	
目	道路橋梁総務費	道路橋梁総務一般経費	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路台帳整備業務委託(隔年) ・道路占用システム保守委託 ・境界復元等測量業務委託 ・道路占用システム機器等使用料 ・道路事故賠償金 	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>・道路台帳(市道)整備等を進め、適切な維持管理を推進する。</p>
---	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費0千円 ・需用費10千円 ・役務費1,021千円 ・道路占用システム保守委託302千円 ・境界復元等測量業務委託0千円 ・道路占用システム機器等使用料48千円 ・県道路協会等負担金718千円 ・道路事故賠償金1,506千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費20千円 ・需用費10千円 ・役務費1,032千円 ・道路占用システム保守委託336千円 ・道路台帳整備業務委託料5,000千円 ・境界復元等測量業務委託1,000千円 ・道路占用システム機器等使用料48千円 ・道路事故賠償金700千円 	補助金・交付金	その他 ()	
	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)	旅費 20千円 需用費 60千円 役務費1,032千円 委託費6,500千円 使用料および賃借料 48千円 道路事故賠償金 1,000千円	旅費 20千円 需用費 60千円 役務費1,032千円 委託費6,500千円 使用料および賃借料 48千円 道路事故賠償金 1,000千円
直接事業費	3,605千円	8,146千円	8,660千円	8,660千円	8,660千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他(諸収入)	1,506	700	1,000	1,000	1,000
一般財源	(0)	2,099	7,660	7,660	7,660
人工数					
職員	0.23人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
概算人件費	1,849千円	2,360千円	2,360千円	2,360千円	2,360千円
+ 総事業費	5,454千円	10,506千円	11,020千円	11,020千円	11,020千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	地域等への作業委託件数 (平成20年度を現状値とした累計)	件	-	-	-	-
	実績			27	55	84	
活動指標	目標	交通人身事故の発生件数	件				410
	実績			432	429	417	459
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
公共道路用地との現地の境界立会いを行い、官民境界確定を行いました。	今年度は、県管理道路等の帰属・移管を要請されているので、道路台帳の整理等委託業務を実施する。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・道路用地との境界等に対するトラブルが増えつつある。 ・地下埋設物が起因した道路施設への障害もしばしば発生している。	未登記道路の紛争解決に尽力するよう要求されている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	上下水道事業・ガス事業等の管理システムとの連携

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 予算も含め現状維持が精一杯である。

特記事項

--